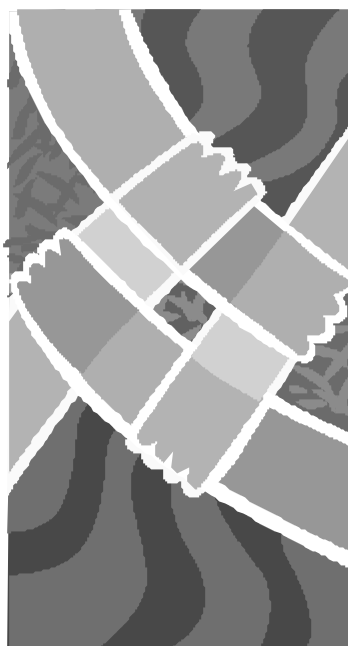




地域連携アンケート



平成17年



学校法人 九州国際大学

地域と学校との連携に関する調査

アンケートへのご協力をお願い

貴社ますますご清栄のことと存じます。

日頃より、学校法人九州国際大学の活動の推進に多大なご理解・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、私ども学校法人九州国際大学は、大学院（法学研究科・企業政策研究科の2研究科）、大学（法学部・経済学部・国際関係学部の3学部）、高等学校（男子部・女子部・一貫部）、中学校を設置する教育機関として、**地域企業の皆様と連携を図りながら、教育・研究の推進、地域の活性化やその連携のあり方について総合的に調査を進めていきたい**と考えております。

近年においては、産業構造の変化や雇用の急速な流動化により、勤労者自らがより高い職業上の知識や技能を習得しなければならない時代を迎えたと思います。また、少子・高齢化の一層の進展に伴い、女性や高齢者の就労機会も増大することが予想されます。このことは、地域社会における学習機会・教育資源である教育機関への期待が高まるものと受け止めております。

一方、昨今の教育機関（特に大学）改革の動きが急加速する中で、当学園も社会的貢献・地域連携が重要課題になってきているとの認識により、平成13年4月に文化交流センターを開設いたしました。地域企業の皆様との連携は十分なものとは言えないものであります。このような状況を鑑みますと、本学園（大学院・大学・高等学校・中学校）が皆様との連携を深め、調査・研究のみならず生涯学習の提供や人材育成に寄与し、また、ともに地域の活性化を進めるためには、どのような取組みが必要かを明らかにすることが肝要であり、それが今後の本学園の役割と使命になってくると考えております。そこで、本学園ではこうした問題意識のもと、今回、『**地域と学校との連携**』に関するアンケート調査を企画させていただきました。

つきましては、実際に生涯学習あるいは地域活性化を進めておられる企業・諸団体の方々を対象に、**当学園に日ごろからどのような期待・要望をお持ちかをお伺いしたい**と考えて、調査へのご協力をお願いする次第です。

なお、本調査に寄せられたご意見ならびに得られた知見は、地域連携推進や教育研究のための資料として活用させていただき、目的外に使用することはございませんので、思うところをお答えください。

ご多用中お手数を重ねさせていただきますが、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【ご記入およびご返送について】

- ・ご記入は、必ず封書宛名のご本人にお願いします。
- ・ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒にて10月7日（金）までにご返送ください。
- ・アンケートの中でご不明な点等がございましたら、遠慮なく下記までご連絡ください。

〈本件に関するお問合せ先〉

九州国際大学文化交流センター 担当者 神力（しんりき）、城戸（きど）
TEL 093-663-1611
FAX 093-663-1612
E-mail: shinriki@hq.kiu.ac.jp

平成17年9月
学校法人 九州国際大学
文化交流センター長 今村 忠夫
〒805-0059 八幡東区尾倉二丁目6-1

地域と学校との連携に関するアンケート

貴社・団体名 _____

部 局 名 _____

調査票記入者
役職・ご氏名 _____

電 話 番 号 _____

E - m a i l _____

※あてはまる記号に○をつけてください。数字やことばを書く質問もあります。

はじめに貴社・団体についてうかがいます。

問1】貴社の所在地はどこですか。

市 区 町

郵便番号 -

問2】貴社・団体の業種を伺います。該当する業種に○をつけてください。

<農林業>	1. 農業、2. 林業
<漁業>	3. 漁業、4. 水産養殖業
<鉱業>	5. 鉱業
<建設業>	6. 建設業
<製造業>	7. 食料品製造業、8. 飲料・たばこ・飼料製造業、 9. 繊維工業（衣料、その他の繊維製品を除く）、10. 衣服・その他の繊維工業、 11. 木材・木製品製造業（家具を除く）、12. 家具・装備品製造業、 13. パルプ・紙・紙加工品製造業、14. 印刷・同関連業、15. 化学工業、 16. 石油製品・石炭製品製造業、17. プラスチック製品製造業、 18. ゴム製品製造業、19. なめし革・同製品・毛皮製造業、 20. 窯業・土石製品製造業、21. 鉄鋼業、22. 非鉄金属製造業、 23. 金属製品製造業、24. 一般機械器具製造業、25. 電気機械器具製造業、 26. 情報通信機械器具製造業、27. 電子部品・デバイス製造業、 28. 輸送用機械器具製品、29. 精密機械器具製造業、30. その他の製造業



<電気・ガス・熱供給・水道業>	31. 電気・ガス・熱供給・水道業
<情報通信業>	32. 通信業、33. 放送業、34. 情報サービス、 35. インターネット付随サービス業、 36. 映像・音声・文字情報制作業
<運輸業>	37. 鉄道業、38. 道路旅客運送業、39. 道路貨物運送業、 40. 水運業、41. 航空運輸業、42. 倉庫業、 43. 運輸に附帯するサービス業
<卸売・小売業>	44. 卸売業、45. 各種商品小売業、46. 織物・衣服・身の回り品小売業、 47. 飲食料品小売業、48. 自動車・自転車小売業、 49. 家具・じゅう器小売業・機械器具小売業、50. その他小売業
<金融・保険業>	51. 金融・保険業
<不動産業>	52. 不動産業
<飲食店、宿泊業>	53. 一般飲食店、54. 遊興飲食店、55. 宿泊業
<医療、福祉>	56. 医療業、57. 保健衛生、58. 社会保険・社会福祉・介護事業
<教育、学習支援業>	59. 学校教育、60. その他の教育・学習支援業
<複合サービス事業>	61. 郵便局、62. 協同組合（他に分類されないもの）
<サービス業（他に分類されないもの）>	63. 専門サービス業（他に分類されないもの）、64. 学術・開発研究機関、 65. 洗濯・理容・美容・浴場業、66. その他の生活関連サービス業、 67. 娯楽業、68. 廃棄物処理業、69. 自動車整備業、70. 機械等修理業、 71. 物品賃貸業、72. 広告業、 73. その他の事業サービス業、74. 政治・経済・文化団体、 75. 宗教、76. その他のサービス業、77. 外国公務
<公務（他に分類されないもの）>	78. 国家公務、79. 地方公務
<分類不能の産業>	80. 分類不能の産業

貴社・団体における人材育成への取り組みについてうかがいます。

問3】内部研修（O・J・T）や外部研修（OFF・J・T）等具体的な人材育成対策を実施されていますか。

- 1. 実施している
- 2. 実施していない

問4】問3】で「実施している」と回答された方へうかがいます。

どのような形式で人材育成を実施されていますか。

当てはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1. 内部研修（O・J・T）として上司の指導で実施している。
- 2. 内部研修（O・J・T）の一貫として民間教育事業者に依頼して実施している。
- 3. 内部研修（O・J・T）の一貫として個人による生涯学習への奨励制度を設けて実施している。
- 4. 民間教育事業者（OFF・J・T）の実施する研修会への社員・団体を派遣している。
- 5. 民間教育事業者（OFF・J・T）
- 6. 大学等高等教育機関と連携して実施している。
- 7. 地方公共団体等が実施するリカレント教育への社員・場業院を派遣している。
- 8. 社員・団体内自らの学習機会の確保に任せている。
- 9. その他（_____）

問5】問3】で「実施していない」と回答された方へうかがいます。

今後、実施する予定はありますか

- 1. ない
- 2. 検討中
- 3. その他（_____）

問6】問4】で生涯学習の奨励制度を設けていると回答された方へうかがいます。

どのような奨励制度を実施されていますか。当てはまるものにいくつでも○をつけてください。

- 1. 受講料への援助（自己啓発助成給付金制度等）
- 2. リフレッシュ研修制度の導入
- 3. 就業時間等への配慮
- 4. 教育訓練等学習機会に関する情報提供
- 5. 有給教育訓練休暇制度の活用
- 6. その他（_____）

問7】問3～6】に関する事で、大学等教育機関への相談や連携をされたことはありますか。

- 1. ある

相談・連携事項について具体的にご記入をお願いいたします。

- 2. ない
- 3. 今後連携したい
- 4. その他（_____）



貴社・団体における人材育成としての研修に関する期待についてうかがいます。

問8】研修をする上での必要事項について伺います。どのような機会があれば、大学等と連携した研修が可能と思えますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1. 個人のキャリア開発に関する学習機会
2. 高等教育機関による社会人のための学習機会
3. 新たな情報通信手段を活用した高等教育機関等による学習機会
4. 高等教育機関等による学習機会の出前
5. 職業に関する学習機会とその情報提供
6. 女性のキャリア開発のための学習機会
7. 各種資格等の学歴要件等の見直しに関する学習機会
8. 技能審査等の高等教育機関の学校外での学習機会とその単位認定
9. その他 (_____)

問9】研修をする上での問題点について伺います。大学等と連携した研修をする上でどのようなことが問題点になっていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1. 貴社・団体の所在地の近隣で研修が実施されない
2. 研修の時期や時間が不相当
3. 研修への時間的余裕がない
4. 保育・託児施設がない
5. 研修に関する情報が少ない・研修の導入や進め方について相談できるところがない
6. 研修への経済的支援ができない
7. 貴社・団体の業務内容や希望に添った研修が企画・実施されない
8. 適当な講師や指導者がいない
9. その他 (_____)

問10】研修をする上での研修内容について伺います。どのような内容があれば、大学等と連携した研修がより進むと思えますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1. 職種別研修 (①営業・マーケティング系、②人事・労務系、③総務・法務、④経理・財務・税務系、⑤製造・技術・情報系、⑥物流・貿易、⑦ビジネスマナー、⑧企画系、⑨その他 _____)
2. 目的別研修 (①ビジネスマナー、②自己改革、③経営分析、④プレゼンテーション、⑤リーダーシップ、⑥コミュニケーション、⑦その他 _____)
3. 階層別研修 (①内定者、②新入社員、③中堅社員、④管理職、⑤経営者・経営幹部、⑥その他 _____)
4. 自己啓発研修 (①各種資格取得、②情報技術、③語学力、④スポーツ・トレーニング、⑤介護・福祉、⑥その他 _____)

問11】研修をする上での研修方法・形態について伺います。どのような方法・形態があれば、大学等と連携した研修がより進むと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。

1. テレビ・ラジオなど放送メディアを利用
2. 放送大学などの通信教育制度を利用
3. インターネットによる教育・学習コンテンツ配信を利用
4. 大学等の施設の地域開放にもとづく公開講座や講習会を利用
5. その他_____)

高等教育機関による社会人の学習機会への認識についてうかがいます。

問12】職業を持つ社会人の再学習の需要に応えるため、大学等高等教育機関は様々な受入の工夫を実施しています。以下の対応のうちご存知の対応にいくつでも○をつけてください。

1. 社会人特別選抜入試による社会人の大学（院）入学機会の拡大
2. 科目等履修性（聴講生）の制度による社会人の受け入れ
3. 研究生の制度による社会人の受け入れ
4. 編入学による社会人の受け入れ
5. エクステンションセンター等生涯学習機関が実施する講座の受け入れ

次に地域における教育機関の役割に関する事柄についてうかがいます。

問13】教育機関が取り組むべき以下の事柄について、貴社・団体は、本学園にどの程度の期待をしていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

全 少 大
く し い
期 期 期
待 期 待
し 待 待
て 待 待
い っ っ
な い っ っ
い ない いる いる

<研究の推進について>

1) 基礎的、理論的な研究の推進	1	2	3	4
2) 実地的、または実践に直結する研究の推進	1	2	3	4
3) 貴社・団体の活性化のためのプログラム開発に関する研究の推進	1	2	3	4
4) 研究成果をわかりやすく公開すること	1	2	3	4
5) 貴社・団体の研究者（自治体職員や企業人）が研究員等の形で、定期的に大学等で研究や研修を行えるようにすること	1	2	3	4

<人材育成について>

6) 人間性豊かな人材の育成	1	2	3	4
7) 幅広い教養を身につけた人材の養成	1	2	3	4
8) 実践に役立つ専門的な知識・技能を有する人材の養成	1	2	3	4

<各種講座について>

9) 公開講座メニューの充実	1	2	3	4
10) 地域住民向けの講座・講演会の実施に関すること	1	2	3	4
11) 小・中・高校生を対象にした講演会やセミナーを実施すること	1	2	3	4
12) 公開授業の実施（企業等社会の方が学部の授業を聴講できるようにすること）	1	2	3	4
13) 自治体職員や教員の研修の機会を大学が設けること	1	2	3	4
14) 資格や免許を認定する講習を実施すること	1	2	3	4
15) 生涯学習の推進に関わる相談に対応すること	1	2	3	4
16) 生涯学習や教育の最新の動向等について情報提供を行うこと	1	2	3	4

<地域活動への参加について>

17) 教職員を市町村の事業の講師や助言者として派遣すること	1	2	3	4
18) 教職員が市町村の各種委員会の委員となること	1	2	3	4
19) 生徒・学生の社会貢献活動（ボランティア活動等）を推進すること	1	2	3	4
20) 留学生と地域社会との交流をすすめること	1	2	3	4
21) 環境美化活動への生徒・学生・教職員の参加	1	2	3	4
22) 地域のイベントやお祭り等への生徒・学生・教職員の参加	1	2	3	4
23) 地域文化を全国に発信するさいの手助けをすること	1	2	3	4

<大学の改革について>

24) 社会人入学の定員を増やすこと	1	2	3	4
25) 学部や大学院の夜間開講（夜間主コース）の授業の実施	1	2	3	4
26) 他大学・短大との単位互換を進めること	1	2	3	4
27) 学部、大学院で取得できる資格、免許を増やすこと	1	2	3	4
28) 優秀な学生の確保（スポーツ活動）を推進すること	1	2	3	4
29) 優秀な学生の確保（文化活動）を推進すること	1	2	3	4
30) 優秀な学生の確保（芸術活動）を推進すること	1	2	3	4
31) 複数の大学・短大が連携してコンソーシアムなどをつくり、地域貢献を進めること	1	2	3	4
32) 卒業生が仕事上の相談に訪れることができる環境をつくること	1	2	3	4

<施設について>

33) 教室や会議室の利用・開放を推進すること	1	2	3	4
34) 図書館の利用・開放を推進すること	1	2	3	4
35) コンピュータやインターネット設備の利用・開放を推進すること	1	2	3	4
36) 体育館やスポーツ施設等の利用・開放を推進すること	1	2	3	4
37) 食堂や生協の利用・開放を推進すること	1	2	3	4

問14】本学園と地域とが連携・協力していくことで実現すると思われる事柄はなんですか。

次の項目の中から3つ選んで○をつけてください。

1. 公開講座・出前講座など大学開放事業の活性化
2. 地域住民に大学を身近に感じてもらうこと
3. まちづくり・むらおこしなど地域づくり活動の充実
4. 地域住民の生涯学習ニーズの把握などの調査研究の充実
5. 地域の抱える諸課題を解決する仕組みづくり
6. ボランティアや地域リーダーなどの人材育成プログラムの充実
7. 小・中学校を舞台にした学社連携・学社融合プログラムの充実
8. 地域における幅広い人的ネットワークの構築
9. 大学の教職員・学生が地域社会に対する帰属意識・連帯感をもつこと
10. その他（)

問15】本学園と地域（企業・諸団体）とが連携・協力して生涯学習や地域づくりをするために必要な条件・重要な点は何だと思われますか。
以下の各項目について、どの程度の重要性を感じられるか、
あてはまる番号に○をつけてください。

全
く
重
要
で
は
な
い

あ
ま
り
重
要
で
は
な
い

重
要
で
あ
る

非
常
に
重
要
で
あ
る

1) 教職員の専門分野に関する情報	1	2	3	4
2) 教職員の教育・研究のレベルに関する情報	1	2	3	4
3) 講師や助言者としての経験に関する情報	1	2	3	4
4) 講師や助言者として行う話の難易度に関する情報	1	2	3	4
5) 講師謝金や旅費など費用に関する情報	1	2	3	4
6) 講師や助言者として利用可能な日程に関する情報	1	2	3	4
7) 教職員が地域貢献に熱意があるかどうかに関する情報	1	2	3	4
8) 教職員が地域の実情をどれだけ理解しているかに関する情報	1	2	3	4
9) 問い合わせ・打ち合わせの窓口に関する情報	1	2	3	4
10) 地域と当学園が情報交換をする場や機会に関する情報	1	2	3	4
11) 地域と当学園の交流・連携に関する情報	1	2	3	4
12) 行政と大学の交流・連携に関する情報	1	2	3	4
13) 地域住民の生涯学習に対するニーズに関する情報	1	2	3	4
14) 生徒・学生の地域活動への参加に関する情報	1	2	3	4
15) 図書館の書籍・雑誌や利用・開放に関する情報	1	2	3	4
16) スポーツ施設の利用・開放に関する情報	1	2	3	4
17) スポーツ指導者やインストラクターに関する情報	1	2	3	4
18) インターネット施設の利用・開放に関する情報	1	2	3	4
19) 情報技術の指導者に関する情報	1	2	3	4
20) その他の施設の開放・利用に関する情報	1	2	3	4
21) その他 ()	1	2	3	4

問16】その他、生涯学習および地域企業との連携に関する本学園のとり組みについてご意見・ご要望をお聞かせください。

大学について

高等学校について

中学校について

文化交流センターについて

問17】生涯学習および地域企業との連携に関する市町村のとり組みについてご意見・ご要望をお聞かせください。

問18】最後に、本学園および本学園の学生・生徒に関しての第一印象（イメージ）について



例示にならって、それぞれの印象をお聞かせください。

<p>1. 大学〈例示〉</p> <p>(1) 大学自体について</p> <p>①硬式野球が強い（全国レベル）大学、②キャンパスや施設がきれい（近代的）な大学、③地味な大学、など。</p> <p>(2) 学生について</p> <p>①礼儀正しいマナーのある学生が多い、②サークル活動に精力的で元気がある、③マナーが悪い、など。</p> <p>.....</p> <p>1. 大学</p> <p>(1) 大学自体について</p> <p>(2) 学生について</p> <p>2. 大学院</p> <p>(1) 大学院自体について</p> <p>(2) 院生について</p> <p>3. 高等学校</p> <p>(1) 高等学校自体について</p> <p>(2) 高校生徒について</p> <p>1) 全校生徒</p> <p>2) 男子部生徒</p> <p>3) 女子部生徒</p> <p>4) 一貫部生徒</p> <p>4. 中学校について</p> <p>(1) 中学校自体について</p> <p>(2) 中学校生徒について</p>

質問は以上です。長時間にわたりご協力ありがとうございました。

アンケートの内容に関わらず本学園に関するご意見やご質問などがございましたら、ご遠慮なくご連絡ください。

九州国際大学文化交流センター

北九州市八幡東区尾倉二丁目6番1号

担当者 神力（しんりき）、城戸（きど）

TEL 093-663-1611

FAX 093-663-1612

E-mail: shinriki@hq.kiu.ac.jp

